

大洲高校陸上競技部に所属する亀岡実鶴さんは、7月13、14の両日、松山市で開かれた愛媛県選手権大会の400m走で準優勝しました。その走りが認められ、四国4県の代表選手で競う8月25日に高知県で開かれた「四国陸上競技選手権大会」4×400mリレーの愛媛県選抜選手に選ばれました。

同大会は大学生と高校生と一緒に走ります。「大学生たちは自分よりも早く走る。普段高校生と走るときよりも緊張した」と話す亀岡さんですが、見事優勝することができました。「四国大会で優勝したことが初めてだったので、うれしかった。全国大会に出場できなかったのが心残りなので、大学生になっても陸上を続けて、全国大会に出場したい」と語りました。

四国陸上競技選手権大会 4×400mリレーで優勝

亀岡 ^{みつる} 実鶴さん(大洲高3年) =内子7=



四国中学校総合体育大会 男子1年1500m走で準優勝

萬奥 ^{なおき} 脩貴さん(内子中1年) =立川袋口=



(右が萬奥くん)

小学生のころから、地元のサッカーチームに所属し、練習を積み重ねてきた萬奥脩貴くんですが、走ることも得意です。愛媛県小学校陸上運動記録会に100m走と60mハードルで出場経験があります。内子中学校入学後も、サッカー部で練習をする傍ら、陸上の練習も行ってきました。

7月22日に松山市で開かれた「県中学校総合体育大会」男子1年1500m走の部で優勝を勝ち取り、8月3日に高知県で行われた「四国中学校総合体育大会」に出場。同大会ではペースが落ちないように心掛け走った結果、4分29秒07で準優勝に輝きました。「準優勝できたことはよかったが、来年以降もこの大会に出場して次は優勝したい」と語りました。

えひめYOSAKOI祭り 2年連続金賞受賞

HOP☆STAR



「えひめYOSAKOI祭り」が8月18日に開かれ、HOP☆STAR(中谷竜介代表)の皆さんが金賞に輝きました。

24年8月に行われた同祭りでジュニアの部にあたるカテゴリー3で金賞を受賞したことにより、今大会は一般の部にあたるカテゴリー2に部門を上げて臨みました。メンバー全員で力を合わせて2年連続の金賞を受賞。また2つの異なる部門で金賞を受賞するのは大会初です。キャプテンの山本悠花さん(内子中3年)は「小学1年生もいる年齢層の広いチームだけど、全員が優勝する気で練習し、一体感のある踊りをできた。来年も金賞を受賞して、3連覇を達成したい」と話しました。

練習の成果が実を結ぶ さまざまな大会で輝いた人たちを紹介します

町内の人たちが県大会以上の大会で優秀な成績を収めました。大きな舞台で活躍するために普段の練習で心掛けていたり、大会の詳細、これからの目標などを聞きました。

日本スポーツマスターズ ソフトボールの部に出場

池田 ^{おさむ} 修さん(45) =宿茂=
藤原 ^{ゆきお} 幸夫さん(44) =吉野川=



池田修さんと藤原幸夫さんが所属する松山リハビリテーション病院ソフトボールクラブは5月に開かれた愛媛県予選で優勝し、9月14～16日の3日間、福岡県で開かれた「日本スポーツマスターズ北九州大会」のソフトボール壮年の部に愛媛県代表として出場しました。

初戦は和歌山県代表に6-0で勝利したものの、2戦目は静岡県代表に0-4で敗れました。一塁手で出場した池田さんは「対戦相手の力は県予選と変わらないと感じた。次は全国制覇できるようがんばりたい」と語りました。遊撃手で出場した藤原さんは「どのチームの選手も一生懸命に楽しく競技していることが印象的。ただ壮年と感じさせない若々しいプレーと勝負にこだわる姿に感心した」と振り返りました。

全日本都道府県対抗少年剣道 優勝大会に出場

稲積 ^{はるき} 春樹くん(大瀬小6年) =本町3=



24年のナカフード杯少年剣道大会と愛媛県小学5、6年生剣道大会で上位入賞に輝いた稲積春樹くん。その成績が認められ、9月15日に大阪府で開かれた「全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会」の愛媛県選抜に選ばれました。

週3回、大瀬剣友会で練習する稲積君。「みんな仲良しで、協力し合いながら楽しい練習を行っている」と語ります。

同大会では愛媛県選抜は残念ながら予選敗退でしたが、稲積君は持ち味の引き面で愛知県代表選手に勝つことができました。「全国大会に出場することは初めてなので、試合前は緊張した。個人で勝つことができうれしかった」と話しました。